



つづきナビ倶楽部  
都筑発見講座 10年間の記録

**表紙の写真：メタセコイヤの並木**

2022年5月 撮影：秋山 満

センター南駅前からスキップ広場を通り、都筑区役所に向かう通りの両側には、緑が多い街都筑を象徴するようにメタセコイヤの並木が美しい。

## 目次

- 1 つづきナビ倶楽部 10 周年にあたって（都筑区地域振興課 課長 倉田 真希）
- 2 10 周年ご挨拶（会長 津田 正・前会長 故 鈴木 紘正）
- 3 港北ニュータウン・グリーンマトリックスへの思い（顧問 川手 昭二）  
倶楽部に参加して（顧問 秋山 満）
- 4～5 倶楽部の発足と現在（会員と運営委員の集合写真）
- 6 倶楽部の特色（三つの班編成・下見・資料作り・ミーティング）
- 7～8 10 年間散策の概要（散策コース一覧は 23～25 ページ掲載）
- 9 都筑区を離れ他区や周辺の市を訪れて気づいたこと  
（色々な散策案内表示：エリアマップ・歩道上の絵・マンホールの蓋）
- 10 都筑区（現代）から旧都筑郡（明治時代）へ
- 11 さらに周辺の横浜市内と街を訪れて
- 12～13 都筑の魅力Ⅰ 緑道・せせらぎ・公園
- 14 都筑の魅力Ⅱ 美しい草花・樹林・街路樹
- 15 都筑の魅力Ⅲ 計画的に作られた街
- 16 都筑の魅力Ⅳ 農業が盛んな都筑区
- 17 都筑の魅力Ⅴ 南部の歴史ある街
- 18～19 都筑の魅力Ⅵ 伝統的な年中行事
- 20～21 都筑の魅力Ⅶ 路傍や寺社に祀られている石造物
- 22 都筑の魅力Ⅷ 変貌する川和と川向の街
- 23～25 10 年間に歩いたコース一覧
- 26 2022 年度会員写真
- 27 編集後記

## つづきナビ倶楽部 10周年にあたって

都筑区地域振興課  
課長 倉田 真希

「つづきナビ倶楽部」が今年で発足 10 年という節目を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

貴会が主催する「つづき発見講座」は、都筑の良さを再発見する学習と散策のイベントを通じて、地域住民の交流や豊かなまちづくりに貢献されています。都筑区では、スタート当初より本講座を応援してまいりました。長年にわたる御尽力に心より敬意を表します。

昨今、少子高齢化や人口減少、デジタル化といった社会の急速な変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域社会のあり方も転換期にあります。そのような中で、改めて、「つながり」・「活力と魅力」・「安心」を実感できる地域づくりこそが、何よりも重要だと考えています。

この 10 年、多くの住民のつながりを作り、都筑の魅力を伝えてきた皆さまの御活動に感謝しますとともに、今後の貴会のさらなる御発展と、会員の皆さま方の御活躍をお祈り申し上げます。

## 10周年ご挨拶

会長 津田 正

つづきナビ倶楽部も気がつけば10年目になります、この節目に記念誌を作成することにいたしました。まずは会を立ち上げた鈴木会長や創設時のメンバーの方々の行動力には、ただただ脱帽です。また会としては幸運なのは、川手先生と秋山先生のご指導を得ていることだと思えます。都筑区地域振興課や中川西地区センターはじめ、多くの方々からもご助力頂いており、感謝申し上げます。途中からの参加で、お手伝いのつもりの運営委員がいつの間にか会長です。事務局として至らない所もあるとは思いますが、今後も宜しくお願ひします。



ご存知とは思いますが、つづきナビ倶楽部の特徴は事前の講座(勉強会)です。そして、単に歩くだけでなく地域の歴史や風土も学ぶ点です。コース選定・資料作成を有志・運営委員で行う点や、体力がない方のコースにも配慮している点も特筆できます。今後も会員のみなさんの熱意と積極的な参加で、長く活動を続けていきたいと思ひます。

前会長 故 鈴木 紘正

2012年7月、都筑区生涯学習事業『つづき芽生えプロジェクト』の参加者で、『つづきナビゲーター運営委員会』を設立し、同年10月～12月、都筑区区民企画運営講座『つづき発見講座』(連続5回講座)を都筑区と共催してから、今年で10年になります。



都筑区には、美しい自然が沢山残っています。この美しい自然を見て歩き、残していきたいという思いで活動を始めました。しかしニュータウンということもあり、私たちが地域の自然や歴史に知らないことが多いことに気づきました。とにかく、歩き廻り、ガイドになる資料を作成しようと「つづき発見講座」を企画し、実行したのです。

「つづき発見講座」の運営事務局として「つづきナビ倶楽部」を結成し、10年が経ちました。この活動が何時迄も続く事を願っています。

前会長 鈴木紘正は2022年3月23日に逝去しました。

明るく熱意をもって会を引っばってってくださいました。会員一同ご冥福をお祈りいたします。



初年度 つづきナビゲーター運営委員会



初年度 運営会議

## 港北ニュータウン・グリーンマトリックスへの思い

顧問 川手 昭二

今までのニュータウンのつくり方は、幹線道路を最初に設計し、それを元に近隣住区を書き込んでいくという設計の仕方をしてきました。港北ニュータウンでは、緑道を最初に設計しました。そして、その計画の体系を「グリーンマトリックス」と呼びました。

工夫して残された緑を最大に活かすためには、緑を中心にした一日の生活ストーリーとしてまとめ、その物語にそって筋道をとおした緑地計画を立てることです。

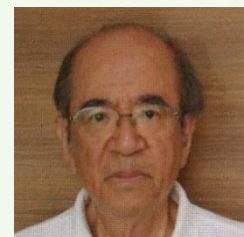


以上は、2014年つづきナビ倶楽部発足時からご指導いただきました顧問の川手昭二先生に、何度かお話を頂いた港北ニュータウンの特徴である「公園と緑地などを結ぶグリーンマトリックス」について、2021年1月22日のNHKラジオ深夜便で「住民参加の港北ニュータウン50年」と題して語られた一部を紹介しました。

## 倶楽部に参加して

顧問 秋山 満

2014年2月12日、つづきナビ倶楽部は発足しました。前身の2012年『つづきナビゲーター運営委員会』活動から、2022年の今年は、創立10周年という記念の年です。私は事前にミーティングを行い、座学で散策する地域の学習をすることに魅力を感じて参加しました。また、これまで都筑区役所区政推進課が企画した都筑区の散策マップの編集に参加し、区内各地を歩き都筑区の歴史や地理を調べていたので、ミーティングの時にお役にたつことがあるのではないかと考えたのです。



最初は、今のようにプロジェクターでカラー写真をスクリーンに投影して説明するのではなく、A1(60×84cm)の画用紙に散策ルートの地図を描いたり、見どころの写真は、A4の大きさに引き伸ばして説明したので、準備が大変でした。それから会員のほとんどが毎年同じメンバーなので、都筑区内はほとんど歩いてしまい、散策地域を横浜市内全域や隣接する他市に広げました。このため都筑区以外の他地域の散策マップや現地の案内板を見ることが出来て良かったです。

## 倶楽部 発足と現在

### 『つづきナビ倶楽部』の発足

2012年7月、都筑区生涯学習事業『つづき芽生えプロジェクト』の参加者で、『つづきナビゲーター運営委員会』を設立。同年10月～12月、都筑区区民企画運営講座『つづき発見講座』（連続5回講座）を都筑区と共催で実施。

2013年5月～翌2月、都筑区区民企画運営講座『つづきのよさ発見講座』（連続20回講座）を都筑区と共催で実施。

2014年2月『つづきナビ倶楽部』として団体登録。

2014年4月より都筑区の後援をいただきながら、『つづきナビ倶楽部』として『つづき発見講座』を主催し、都筑区の3万年前の遺跡から現在の港北ニュータウンまちづくりなど、地域の魅力や変化の発見に努めています。

又、2017年から、都筑区の周りには東に江戸時代の幕府が置かれた東京、南に鎌倉時代の幕府が置かれた鎌倉など名所旧跡や文化があり、範囲を広げて魅力発見に努めています。

2020年からは、新型コロナウイルス感染拡大の中、感染対策に留意し活動を継続し現在を迎えております。

### 『つづき発見講座』の要旨

古くて新しい街、都筑を学び歩き魅力を感じ伝えていく

1. 横浜市の港北ニュータウン開発の中核に位置する都筑区の都市構造（注釈）と農業専用地区などから都筑の魅力発見。  
（注釈：鉄道や道路・住居と学校・役所と店舗・公園と緑道など）
2. 港北ニュータウン開発の「グリーンマトリックス構想」により、整備された公園と公園が、緑道や歩道で結ばれ車道を通らず四季の彩や変化を体験し都筑の魅力発見。
3. 3万年前の旧石器時代から縄文・弥生・飛鳥～江戸・現代と歴史が息づく都筑。古くて新しい街「都筑区の史跡・名跡や人物」から都筑の魅力発見。
4. 都筑区の周辺は、鎌倉時代に幕府が置かれた鎌倉や江戸時代に幕府が置かれた東京などがあり、史跡や名所も数多く、都筑を外から見ることで都筑の魅力再発見。

## 倶楽部会員

2020 年度 会員 43 名



2020 年度散策 横浜市認定歴史的建造物：川和の中山恒三郎邸の書院の庭で  
(原則非公開)

## 運営委員

会長 1 名、会計 1 名、監査 1 名、広報 1 名、委員 3 名、顧問 2 名、準委員 2 名  
(2022 年度)

委員の主な役割

1. 発見講座の年間散策コースの選定（委員及び会員から募集した案をもとに選定）。
2. 散策コースの下見とガイド及び名所旧跡の解説資料などを作成。
3. ミーティングにて、散策前のコース及び地域の歴史の解説と散策後の振り返り。
4. 散策当日のコース案内と解説。（安全確保にも留意）
5. つづきナビ倶楽部ホームページに散策やミーティングなどの活動トピックス掲載。
6. 倶楽部運營業務：区役所への後援申請・活動報告、ミーティング会場の確保、及び会員募集案内・会員登録手続きなど実施。



運営委員会（散策コースの選定）



運営委員によるコース下見（八聖殿）



## 倶楽部の特色

1. 散策日1か月ぐらい前に各班の委員参加による現地下見を行い、散策路のルートや入館施設の開閉状況など確認し、高齢者に配慮した安全安心な散策の催行。
2. 広報や市販の既存地図などでなく、該当する散策路の見どころなど要約した地図や資料を下見した委員が作成し、委員自ら感じた魅力をもとにした散策の催行。
3. 散策路の実写と見どころを要約した資料を基に、散策前と散策後のミーティングを行い、倶楽部会員みんなが魅力を共感できるように散策の催行。
4. 年齢や体力に応じたA.B.C 3つの班編成。散策路の距離や高低差などを配慮したコース設定による散策の催行。



ミーティングにて次回散策路の解説



ミーティングにて次回散策路の解説



大塚遺跡の弥生時代竪穴住居解説



大塚・歳勝土遺跡の立体図の解説



庚申塔の解説 川和八幡神社



自然生態園について解説 茅ヶ崎公園

## 10年間に歩いたコース概要（2012～2021）

平成24年（2012）つづきナビ倶楽部の前身「つづきナビゲーター運営委員会」発足から、令和3年（2021）の10年間に、つづき発見講座（講義と散策）100コース余りを開催しました。当初は、都筑区内を中心につづき発見講座を開催しておりましたが、平成27年（2015）ごろから、都筑区周辺の神奈川・東京へと講座範囲を広げました。

### 平成24年（2012）

平成24年、緑豊かな素晴らしい環境の都筑を、皆さんにもっと知ってもらいたい、そして一緒に歩き、新たな魅力を発見したいとのことから、区民企画運営講座として「つづき発見講座」全5回が開催されました。  
参加者をAとBの二つのグループに分けて、都筑区の中川を起点に、仲町台から北山田や東山田など、都筑区北部地域を中心に散策しました。第5回最終の講座で、今後の運営の仕方やコースの選定など話し合い、つづきナビ倶楽部のベースができました。

### 平成25年（2013）

平成25年は、区民企画運営講座「つづきのよさ発見講座」が20回開催されました。会員数は32名になりました。昨年度は、都筑区北部を中心に散策しましたので、今年度は、仲町台から川和や鴨居など、都筑区南部を中心に散策をしました。中でも川和は明治から昭和の初期まで、都筑郡役所が置かれた地域の中心でした。豪商中山恒三郎の屋敷や川和の赤ひげ先生の逸話など、歴史の変遷を感じる散策でした。

### 平成26年（2014）

平成26年、都筑の魅力を区民や地域へ継続して発信していく組織として「つづきナビ倶楽部」を、都筑区のボランティア団体登録しました。  
会員数は、34名になりました。継続する会員が多く、都筑区内からその周辺地域の青葉区や緑区・港北区まで散策範囲を広げました。都筑区やその周辺は、鎌倉街道や中原街道及び大山街道など、平安時代から江戸時代まで人の往来や営みを感じる場所が多く、新たな魅力を発見しました。

### 平成27年（2015）

平成27年は、会員数が45名と発足時18名から倍以上になりました。  
都筑区周辺から磯子区にある三殿台遺跡など、横浜市全域に散策範囲を広げました。蒔田駅～弘明寺コースの三殿台遺跡は、縄文・弥生・古墳時代までの竪穴住居跡が保存されていました。横浜のこの地が大昔から住み易い所だという想いに耽りました。

### 平成28年（2016）

平成28年、つづきナビ倶楽部活動を開始して5年目、会員数も47名となりました。  
都筑区近郊の江戸時代の大山街道や東海道、そして、鎌倉時代の武将畠山重忠ゆかりの地など、歴史を偲ぶ散策などを行いました。江戸時代、五街道の一つ東海道五十三次の宿場町、保土ヶ谷宿と神奈川宿の今昔が印象に残っています。

## 平成 29 年 (2017)

平成 29 年、東は東京の品川宿や大森貝塚、南は神奈川の東海道の藤沢宿、西は神奈川の相模原公園など、散策範囲を大きく広げました。また、都筑区内では、前年開設された池辺市民の森など、緑の魅力発見に歩きました。

## 平成 30 年 (2018)

つづきナビ倶楽部活動を開始してから 7 年、東京白金から神奈川大磯などさらに散策範囲を広げ、近世江戸時代から、近代の明治時代の史跡や文化などを中心に散策をしました。中でも大磯は江戸時代の東海道の宿場町から、明治時代になって、日本初の海水浴場ができ、伊藤博文や山縣有朋など明治の元勳の別荘が構えられました。また、昭和の第二次世界大戦後の混血孤児の養護施設エリザベスサンダーホームの記念館などあり、歴史の変遷を感じる散策でした。

## 平成 31 年・令和元年 (2019)

令和元年は、都筑区近郊の古墳時代から江戸時代及び近代までの史跡や文化を中心に散策しました。江戸時代幕末の大老井伊家の菩提寺でもあり、招き猫の由来となった豪徳寺や維新の逸材を育てた吉田松陰の墓などがある烏山川緑道、江戸時代天保飢饉を救ったサツマイモの青木昆陽の墓などの目黒不動の散策が、印象深く残っています。

## 令和 2 年 (2020)

令和 2 年は、3 月から新型コロナウイルスの感染が広がった影響で、3 月から 9 月までナビ倶楽部の活動を全面中止にしました。10 月からは、倶楽部会員に感染予防策や体調不良時の活動自粛など周知し、活動を再開しました。

散策コースは、横浜市内にとどめ、日本でのビール製造発祥など明治時代の横浜発祥の史跡を散策しました。磯子区掘割川散策では、明治 22 年にできた江戸時代の牢屋に代わる近代的な刑務所があった根岸監獄や昭和の歌姫美空ひばりの生家跡などありました。

## 令和 3 年 (2021)

令和 3 年は、昨年からの新型コロナウイルス感染がさらに拡大し、収束が見通せない状況でしたが、高齢者からワクチン接種が開始され、感染予防策を周知し活動を行いました。尚、新型コロナウイルス感染者数が急拡大した非常事態宣言発令期間中の 5 月～6 月は、活動を一時休止しました。

散策路選定については、3 蜜（密集・密接・密閉）に留意し、交通機関の乗車時間や混雑時間帯が最小になるようになど考慮して、都筑区中心に設定しました。

都筑区を中心とした散策でしたが、川崎市境の散策など港北ニュータウン開発の歴史が感じられ、あらためて都筑区の魅力や成り立ちを学びました。

## 令和 4 年 (2022) ～

令和 4 年、つづきナビ倶楽部が発足して 11 年目に入ります。これまでの活動から、継続していく散策、あらたな視点での散策など考えながら、これからも都筑の魅力地域へ発信してまいります。

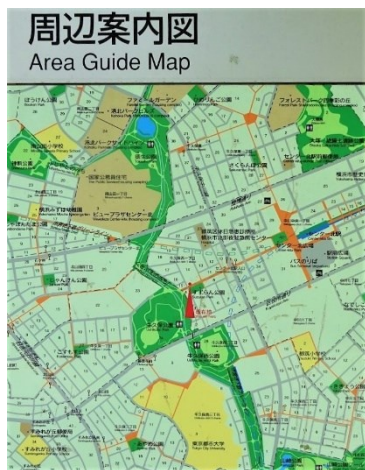
## 都筑区を離れ他区や周辺の市を訪れて気づいたこと

都筑発見講座は、10年間で100あまり開催しました。

都筑区を中心に青葉区や川崎市など他区や周辺の市まで散策をして、名所旧跡や公園などの案内表示、それぞれの地域や場所で特色があることを知りました。

都筑区の代表的な案内表示は、緑道などに設置されているエリアマップです。昭和40年港北ニュータウン開発計画が発表され、グリーンマトリックス構想に基づき、統一したデザインで大変見やすく分かりやすくなっています。

都筑区の周りの地域では、江戸時代などの名所旧跡が多くあり、写真のように色々な案内表示板や歩道の絵及びマンホール蓋など、様々なデザインの案内表示が見られました。



都筑区の緑道に設置されたエリアマップ



大山詣で賑わった荏田宿ガイド（青葉区荏田）



江戸時代の中原街道 歩道絵（川崎市中原区）



二ヶ領用水 ガイド板（川崎市中原区）



箱根駅伝 歩道絵（藤沢市）



瀬谷貉窪(ムジナクボ)公園の入り口絵（瀬谷区）

## 都筑区（現代）から旧都筑郡（明治時代）へ

つづき発見講座を開始し3年目（2014）。

つづき発見講座の受講者（つづきナビ倶楽部会員）は、前年の継続者がほとんどでした。都筑区内をほぼ歩きましたので、明治時代の都筑郡まで散策範囲を広げました。



都筑郡の始まり（奈良時代に武蔵国都筑郡）



明治22年大合併後の都筑郡



引用資料：図説都筑の歴史新聞「6. 古代の都筑郡とその周辺」「18. 明治22年の大合併後の都筑郡」

明治11年（1878）都岡村（現在の旭区下川井）に都筑郡役所が置かれました。翌年、所在地が郡の端で不便とのことから、都筑郡中央に位置する都田村川和へ郡役所が移転されました。川和の郡役所は、昭和の横浜市緑区誕生（1969）まで置かれ、地域の中心となっていました。



明治11年下川井村（旭区）郡役所跡石碑



昭和10年代の川和の街並み  
(高橋正夫氏提供)

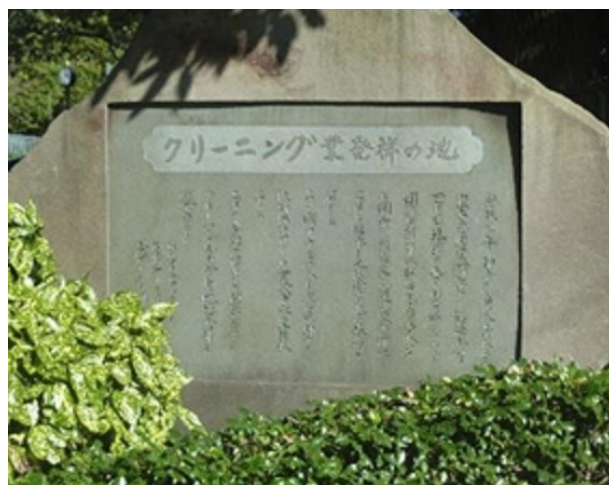
## さらに周辺の横浜市内と街を訪れて

都筑区のある横浜は、江戸時代幕末より世界の国々と交わる開港の街として発展してきました。横浜の港町には、異国情緒漂う建物や街なみが残っています。また横浜は開港にあたりいち早く西洋の文化や日常の暮らしの営みなどが、日本の中で最初に入った街です。横浜の中区を歩くと、日本発祥の地となった吹奏楽演奏やクリーニング業発祥の地の碑などがあり、先進の機運を感じます。都筑区のベースとなった港北ニュータウンの開発構想「グリーンマトリックス」など先進の機運継承を想います。

### 横浜発祥の碑



日本吹奏楽発祥の碑（横浜市山手）



クリーニング業発祥の碑（横浜市元町）



キリンビール発祥の碑（横浜市山手）



塗装発祥の碑（横浜市元町）



ボーリング発祥の碑



横浜開港資料館



横浜税関



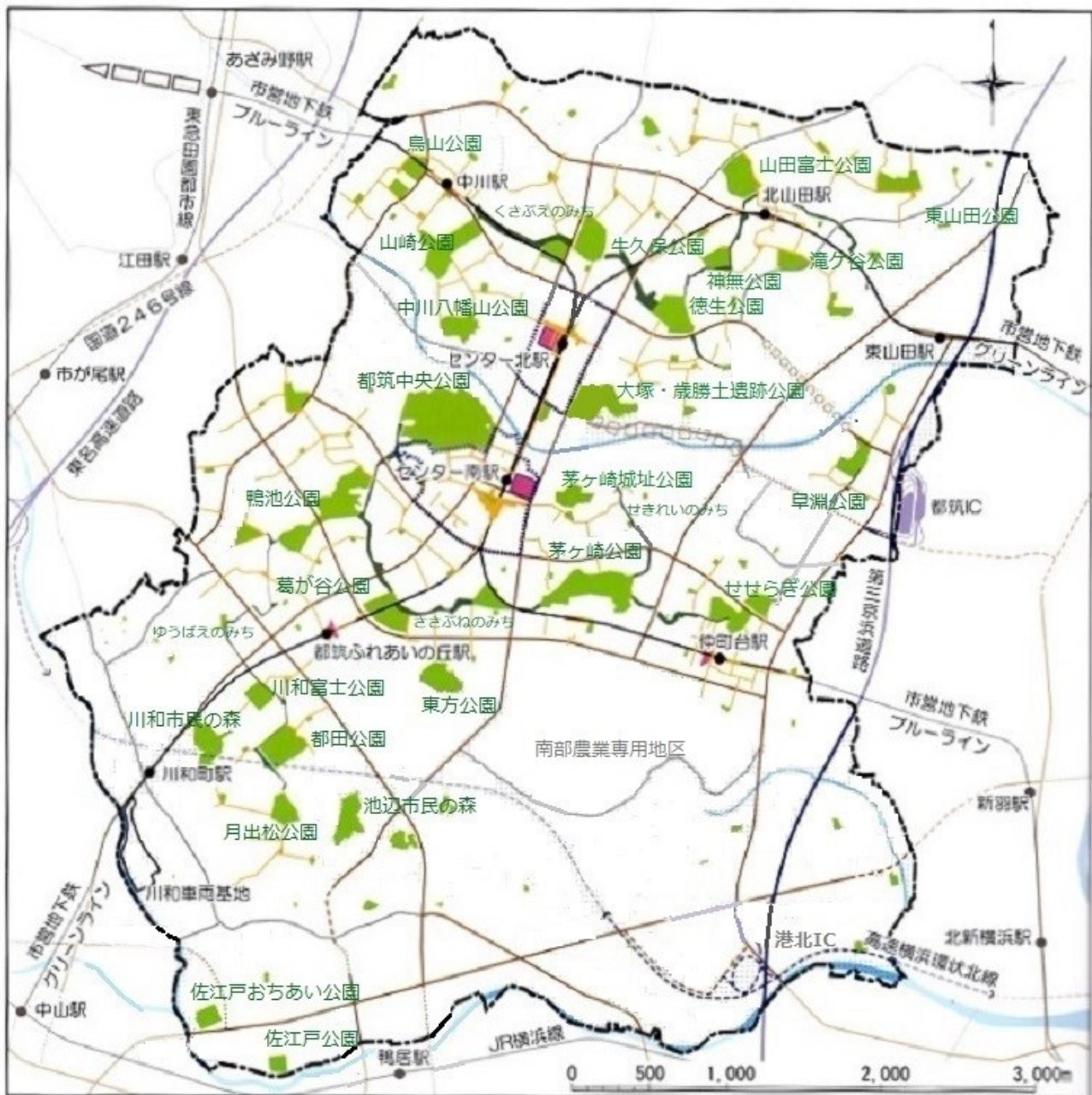
赤レンガ倉庫

## 都筑の魅力 I 緑道・せせらぎ・公園

都筑区には、大きな六つの緑道があります。また自転車・歩行者優先道路があり、広い道路を渡らずに地下鉄の駅まで行くことができます。新緑・紅葉の季節になると、緑道へと自然に行動範囲が広がります。近くに公園があり、子供たちの楽しそうな声が聞こえてきます。

緑道は都筑中央公園・鴨池公園・茅ヶ崎公園・月出松公園などつながり、鳥のなき声や紅葉など四季を通じて心を和ませてくれます。またつながった緑道は、健康づくりコースとして休日には多くの人が、ジョキングや散歩を楽しんでいます。

### 主な公園と緑道 (くさぶえ・せきれい・ささぶね・ゆうばえ・ふじやとみち・江川せせらぎ)



【横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第9116号】

都筑区まちづくりプランの「都市交通の方針図」を利用しました。

都筑区内は、港北ニュータウン開発のグリーンマトリックス構想により、多くの公園が作られ、そして公園と公園が緑道でつながっています。  
近くの公園や緑道をぜひ歩いてみてください。四季折々の彩を見せてくれます。



くさぶえのみち（徳生公園辺りせせらぎ）



ささぶねのみち（荏田東御影橋辺り紅葉）



徳生公園（南山田）



鴨池公園（荏田南）



大原みねみち公園（茅ヶ崎南）



山崎公園（中川）



## 都筑の魅力Ⅱ 美しい草花・樹林・街路樹

毎年、花の季節になると同じ場所を歩き、四季の彩を楽しみます。

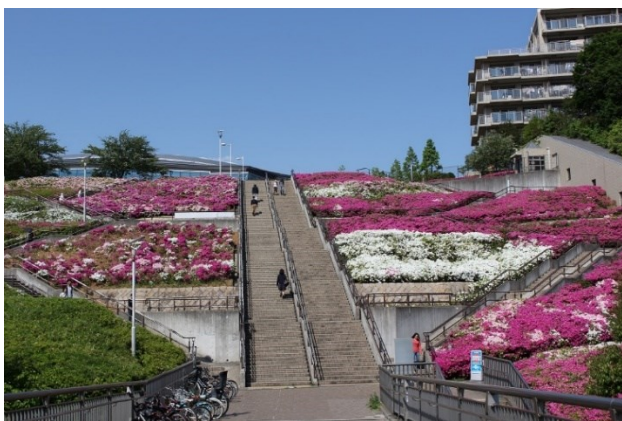
江川せせらぎ緑道のチューリップや川和町駅前の菜の花畑など、地元の方々が前年に球根や種を植え手入れをされています。4月北山田の横浜国際プールのつつじ、6月センター南の正覚寺の紫陽花が見どころです。花の季節どうぞ訪れてみてください。



3月 チューリップと桜 江川せせらぎ緑道（東方）



3月 菜の花畑 川和町駅前（川和）



4月 つつじ 横浜国際プール（北山田）



6月 新緑 街路樹（センター南駅前）



6月 新緑 大塚遺跡公園（センター北）



6月 紫陽花 正覚寺（センター南）

## 都筑の魅力Ⅲ 計画的に作られた街

1960年代昭和の高度経済成長期に入ると、東京を中心に神奈川など周辺地域は、住宅や工場建設等の開発が急速に始まりました。横浜市では、乱開発の懸念から昭和40年港北ニュータウン計画を発表し、計画的な街づくりをはじめました。

2022年現在、都筑区は港北ニュータウンの中核となっています。中でも、センター北とセンター南は、市営地下鉄ブルーラインとグリーンラインが整備され、東京や横浜などへの利便性がよく、人口の減少地域が多い中、都筑区は毎年人口増加となっています。



都筑区の中心 センター南から北へまっすぐ



交通の要 ブルーラインとグリーンライン



駅を中心に広がる店舗と住居（仲町台）



住宅地と緑道が一体となった街づくり

（中川）



戸建てとマンションが整然と立地（中川）



住宅公団と県住宅供給公社一体となった開発

（加賀原）

## 都筑の魅力Ⅳ 農業が盛んな都筑区

都筑区の北部と南部には、各々農業専用地区が設けられ、農業や緑の維持継続が図られています。地区で採れた野菜は、地域のマーケットや道端の無人販売所で売られています。北部の牛久保、南部の池辺、東方、折本、大熊などの農業専用地区では主に野菜などが栽培され、早淵川右岸の荏田南町では稲作が行われています。



牛久保農業専用地区



池辺町イチゴ栽培



東方農業専用地区



トマト栽培都筑清掃局温水を利用（池辺町）



折本農業専用地区 都筑野菜の収穫



池辺農業専用地区 都筑野菜の収穫



早淵川右岸荏田南町 田植え



稲刈り稲架掛け（はさがけ）

## 都筑の魅力Ⅴ 南部の歴史ある街

川和は、貞観17年（875）奈良時代に八幡神社が創建され、現在まで人の営みが続く街です。明治時代には都筑郡役所が置かれ、地域の中心になりました。



奈良時代創建の川和八幡神社



江戸時代大相撲が行われた臨済宗瑞雲寺



明治時代一時郡役所になった妙蓮寺



江戸時代名主の中山本家の山王屋本店の蔵  
(非公開)



江戸時代名主の城所家（非公開）



江戸時代名主の信田家（非公開）



県下有数の大商店だった中山恒三郎家の店蔵  
(原則非公開)



文政年間に始まる菊栽培で名を成した中山恒三郎家の書院  
(原則非公開)

## 都筑の魅力VI 伝統的な年中行事

都筑では、虫送りなど地域の伝統行事から、どんど焼きや節分、ひな祭りなど、一般に広くおこなわれる行事も開催されています。中でもお正月、山田富士公園や川和富士公園のどんど焼きには、多くの人が訪れています。

行事の時期になると都筑区のどこかで開催されています。お出かけください。



1月 どんど焼き山田富士公園（北山田）



2月 節分豆まき（都筑民家園）



3月 ひな祭り（せせらぎ公園 古民家）



9月 池辺杉山神社例大祭



7月 七夕 (都筑民家園)



7月 虫送り (南山田)



8月 盆踊り (大熊 杉山神社)



11月 酉の市 (正覚寺)

## 都筑の魅力Ⅶ 路傍や寺社に祀られている石造物

都筑区の路傍、辻、神社や寺院には、石造物が祀られています。

石造物は、道の神、旅の神、縁結びの神、子供の守り神など、多くの願いや祈りをこめて造立されました。昔の村境に建てられているサイの神・道祖神は、悪疫や悪者が村落に入るのを防ぐ願いが込められています。

そのほか、庚申塔や地蔵も路傍、小堂に祀られています。神社には、鳥居、狛犬、手水鉢、石燈籠、石祠、力石などが祀られ、寺院では、結界石、六地蔵、各種の供養塔、五重塔、宝篋印塔（ほうきょういんとう）、などが祀られています。

### 『北部地域』



堰の元地蔵尊（みなきたウオーク）



三面馬頭観音（都筑民家園入口前）庚申塔



仁王阿形（長泉寺）



仁王吽形（長泉寺）



弁財天（長泉寺）



塞神（勝田杉山神社）



巡拝供養塔（大善寺）



地神塔（正覚寺）

## 『南部地域』



双体道祖神 (川和町)



観音山の観音 (観音山)



二童子庚申塔 (源東院横)



いぼとり地蔵 (池辺町)



弥勒菩薩 (福聚院)



延命地蔵 (宗忠寺)



四臂庚申塔 (浄念寺)



弁財天 (東方町天満宮)



力石 (池辺杉山神社)



## 都筑の魅力Ⅷ 変貌する川和と川向の街

川和は、八幡神社が貞観17年（875）奈良時代に創建された古い街です。明治12年、行政区画として都筑郡が発足し1年後、現在の旭区下川井から郡役所が川和に移転し、川和郵便局や川和警察署及び川和登記所などの行政施設が設置され、商店や旅館も建てられ都筑郡の中心となりました。その後、明治41年、横浜線が現在の緑区中山を通るように敷設され、行政関係施設も徐々に中山に移転し、現在川和郵便局が残るのみとなっています。平成20年（2008）グリーンライン川和町駅の開設から、横浜市中期4か年川和町駅周辺西地区土地区画整理事業（平成30年～令和5年）が行われています。

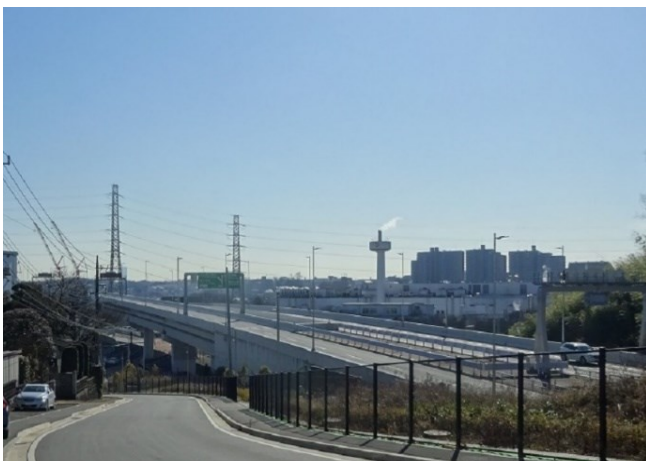


ショッピングセンターフォルテ横浜川和町オープン  
（大型食品スーパーベルクを中心に9テナントが入ります）



建設中マンション（川和町駅前南側）

川向は、昭和の高度成長期に大手メーカーの工場やその下請け工場などが建った街でした。現在は、2020年第3京浜港北インターチェンジと東名高速道路青葉インターチェンジが首都高速道路でつながり、名古屋方面や都心方面への利便性が高まり、新たな物流拠点として、大手物流会社の倉庫群建設が進められています。



港北インターチェンジから  
東名青葉インターチェンジへ  
延びる首都高速横浜北西線

大手物流会社の倉庫群建設  
建設用大型クレーン立ち並ぶ



## 10年間に歩いたコース一覧 (2012～2021)

平成24年 (2012) 会員18名

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	11月7日A	中川～北山田	中川からくさぶえの道を通り山田富士公園へ
2	11月7日B	東山田～北山田	東山田郷土資料館・横浜国際プール・山田富士公園
3	11月21日A	仲町台周回	仲町台駅から中原街道を通り寺社仏閣・古民家へ
4	11月21日B	東山田～北山田	東山田郷土資料館・横浜国際プール・山田富士公園

平成25年 (2013) 会員32名

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	6月 5日	仲町台～川和町駅	仲町台から池辺・川和へ寺社仏閣と畑の中を歩く
2	6月26日	仲町台周回	ふるさとの道を歩きJAでお買い物
3	7月10日	ふれあいの丘～川和町駅	川和の歴史探訪の散策
4	9月11日	仲町台～ららぽーと横浜	故郷を感じる道
5	10月 9日	仲町台～鴨居駅	川と緑の散策を楽しむ
6	11月 6日	ふれあいの丘～川和町駅	公園と緑道を歩き歴史を感じよう
7	11月27日	川和町駅～鴨居駅	郷愁を感じながらせせらぎを歩む
8	12月 4日	仲町台～ふれあいの丘駅	晩秋の紅葉の緑道を堪能しよう

平成26年 (2014) 会員34名

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	4月 2日	中川駅～センター北駅	都筑五山の桜
2	4月 9日	仲町台駅～鴨居駅	桜を楽しみ川風に打たれながらの散策
3	5月 7日	中川駅～センター南	大山街道を偲びつつ歩く
4	5月21日	東山田駅～新羽駅	新吉田に抜ける寺社巡り
5	6月 4日	東山田駅～北山田駅	東山田周辺の歴史を感じよう
6	6月25日	あざみ野駅～王禅寺	タヌキに会えるかも？お楽しみ
7	8月27日	小机駅周回	小机城址と寺社をめぐる城下町
8	9月10日	長津田駅周回	お楽しみ色々の散策
9	10月 1日	中山駅周回	川和市民の森と周辺の散策
10	10月15日	市が尾駅周回	市が尾の歴史を訪ねて
11	11月26日	鴨居駅周回	旧鎌倉街道と寺社をめぐる
12	12月 3日	日吉駅周回	緑道とお寺と紅葉を楽しむ

平成27年 (2015) 会員45名

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	4月 1日	蒔田駅～弘明寺駅	大岡川プロムナードで桜を堪能！
2	4月22日	蒔田駅～弘明寺駅	三殿台遺跡を訪ねる
3	4月29日	川和町駅周回	桜と菜の花を堪能する
4	5月 6日	センター南～仲町台駅	自然豊かな緑道を堪能しよう
5	5月20日	あざみ野駅～保木薬師堂前	早淵川源流と歴史を楽しむ
6	6月 3日	大倉山～新横浜駅	寺社と古民家を訪ねる
7	6月17日	青葉台駅～藤が丘駅	寺家のふるさと村と社寺巡り
8	9月30日	中山駅周回	恩田川と梅田川の自然と寺社を訪ねる
9	10月14日	中山駅周回	四季の森と里山のふれあい
10	10月28日	綱島駅周回	歴史と緑のあふれる桃の町

11	11月18日	町田駅ーバス利用ー町田駅	七国峠と薬師池をめぐる
12	12月 2日	J R 新子安駅～鶴見駅	浅野学園と旧東海道を想い総持寺を訪ねる

平成28年（2016） 会員47名

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	3月30日	新横浜駅循環	三ッ池公園と鶴見川の桜を堪能する
2	4月13日	田奈駅～子供の国駅	恩田を経て子供の国へ
3	4月27日	保土谷駅～東戸塚駅	旧東海道保土谷宿から権田坂
4	5月25日	仲町台～川向町	仲町台駅～折本農専地区～真照寺・早苗地蔵～鶴見川
5	6月 8日	鶴ヶ峰駅～中山駅	鶴ヶ峰周辺と畠山重忠ゆかりの地を訪ねる
6	6月15日	中山駅循環	新治市民の森探索 のびのびウォーク
7	9月14日	溝の口駅～二子新地駅	旧大山街道探索
8	9月28日	横浜駅～神奈川新町駅	神奈川宿歴史の散策
9	10月12日	下飯田駅～下飯田駅	泉区の武将の伝承地を歩く
10	10月26日	上大岡駅～天神橋バス停	イタチ川から昇龍橋へ
11	11月 9日	あざみ野～バス～あざみ野	生田緑地と民家園と枳形城址を楽しむ
12	12月 7日	仲町台～ふれあいの丘駅	都筑の紅葉を堪能しよう！

平成29年（2017） 会員37名

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	3月29日	長尾の里巡り・桜	津田山駅～緑が丘霊園～東高根森林公園
2	4月5日	元町から本牧山頂公園	元町駅～港の見える丘～ワシン坂～本牧山頂公園
3	4月19日	藤沢宿を歩く	藤沢本町駅～白旗神社～藤沢陣屋跡～遊行寺
4	5月10日	舞岡ふるさとの森	舞岡駅～小川アメニティ～舞岡ふるさとの森
5	5月24日	旧東海道東戸塚	東戸塚駅～旧東海道～海道橋～王子神社～江戸方見附
6	6月14日	相模原公園・麻溝台公園	古淵駅(バス)相模原公園・麻溝台公園～大正坂(段丘崖)
7	6月28日	称名寺と金沢文庫	金沢八景駅～瀬戸神社～憲法草創の碑～称名寺
8	8月9日	OP 工場見学	京急大師線鈴木町駅 味の素工場+川崎大師
9	9月6日	大森貝塚遺跡	大森駅(考古学発祥の碑)～文士村レリーフ～品川歴史館
10	9月20日	品川宿を歩く	大井町～高村智恵子の碑～海蔵寺～しばり地蔵
11	10月4日	池辺市民の森	ふれあいの丘駅～池辺富士～池辺市民の森～中原街道
12	11月1日	港北歩く(妙蓮寺菊名)	妙蓮寺駅～菊名池公園～桜山公園～蓮勝寺～菊名
13	11月15日	下飯田-II	下飯田～第六天社～密蔵院～下和泉鯖神社～天王森泉館
14	11月29日	都筑区の紅葉	ふれあいの丘～資源循環局都筑工場～せきれいのみち

平成30年（2018） 会員40名

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	3月8日	山崎公園から都筑五山	中川駅～ 山崎公園～都筑五山を巡る
2	4月4日	鴨居から江川せせらぎ	鴨居～桜咲く江川せせらぎ緑道
3	5月2日	川和の歴史と宿跡	川和の歴史と宿跡を訪ねる (川和町)
4	5月23日	鎌倉 朝比奈の切通しを歩	金沢八景駅～鎌倉 朝比奈の切通し
5	5月30日	明治の匂い香る大磯	大磯の別荘群と吉田邸
6	6月13日	横浜唯一の溪谷と水道	溪谷と水道の歴史を学ぶ (陣ヶ下溪谷、上星川駅)
7	6月27日	帷子川から水道橋へ	中山駅・バス都岡町～帷子川から水道橋へ
8	7月11日	Op サントリー武蔵野	サントリー武蔵野工場 (分倍河原駅・府中本町駅)
9	7月18日	白金庭園美術館と植物園	白金庭園美術館と自然植物園 (白金台駅)
10	9月5日	品川花街道を堪能する	品川花街道を堪能する (大井町)

11	9月19日	葉山の海岸を歩く	逗子駅～葉山
12	10月3日	瀬谷の長屋門から阿久和	瀬谷の長屋門から阿久和の史跡へ(三ツ境駅)
13	10月24日	馬込の文士村	馬込の文士村を訪ねる (大森駅)
14	11月14日	等々力溪谷	等々力溪谷 (等々力駅)
15	11月28日	都筑の紅葉を再発見	都筑の紅葉を再発見 (センター南)

平成31年・令和元年 (2019) 会員43名

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	3月27日	掃部山公園・野毛山公園	掃部山公園・野毛山公園のさくらを満喫する
2	4月3日	武蔵中原からニケ領用水	武蔵中原からニケ領用水と渋川の桜を訪れる
3	4月17日	烏山川緑道・史跡	烏山川緑道・史跡(松陰神社・豪徳寺)を訪れる
4	5月8日	鎌倉の名越の切り通し	鎌倉の名越の切り通し・まんだら堂を散策する
5	5月22日	海老名の史跡	海老名の史跡を訪れる
6	6月12日	中原街道	中原街道(武蔵中原～新丸子)を歩く
7	6月26日	多摩川台の遺跡	多摩川台の遺跡群を訪れる(田園調布)
8	9月18日	砧公園と岡本民家園	砧公園と岡本民家園などを訪れる
9	10月2日	目黒不動	江戸時代に隆盛を極めた目黒不動などを訪れる
10	10月16日	橘の史跡(川崎)	橘(たちばな)の史跡を訪れる
11	10月30日	上永谷のふれあいの道	上永谷のふれあいの道から馬洗川せせらぎ緑道を歩く
12	11月13日	つづき(北)の紅葉	つづき(北)の紅葉を訪ねる
13	11月27日	北鎌倉・源氏山の紅葉	北鎌倉周辺・源氏山の紅葉を散策する

令和2年(2020) 会員40名

新型コロナウイルスで 前半の活動は休止、後半の5回の散策のみでした。

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	10月14日	村岡川(宇田川)の源流	立場駅 村岡川(宇田川)の源流・石巻康敬の墓を訪れる
2	10月28日	都筑南部を訪ねる	川和町駅 都筑南部にゆかりのある人物を訪ねる
3	11月11日	磯子区の堀割川沿いを歩く	根岸駅～堀割川(江戸時代幕末から昭和の記憶)
4	11月25日	横浜発祥の地	元町・中華街駅～山手の丘
5	12月9日	つづきの紅葉	つづきの紅葉(早淵からふれあいの丘)

令和3年(2021) 会員43名

新型コロナウイルス感染拡大により③④活動休止しました。

NO,	実施日	コース名	コース概要
1	3月31日	つづき五山の桜	大塚・歳勝土遺跡から八幡山公園・都筑中央公園
2	4月14日	小机城址	小机城址と雲松院など
5	6月16日	三ツ沢せせらぎ緑道	三ツ沢下町から紫陽花咲く緑道を歩き三ツ沢公園
6	6月30日	大山街道を偲ぶ	大山街道を偲ぶ荏田宿を散策
7	9月22日	新羽・大倉山	曼珠沙華満開の西方寺から大倉山記念
8	10月6日	青葉区の黒須田川	青葉区の黒須田川を歩く
9	10月20日	川崎市との市境を歩く	港北ニュータウン北部境の中川から北山田
10	11月10日	みなとみらい・新市庁舎	2019年竣工した横浜市庁舎見学
11	11月24日	八聖殿	横浜本牧の江戸時代幕末から明治の歴史
12	12月8日	つづきの紅葉(雨天中止)	北山田からセンター南へ緑道を歩く

## 10周年記念 会員集合写真

2022年度会員



昭和の高度成長期の工業の街から、平成の街への変遷を巡りました。  
(2022年4月20日川崎市武蔵小杉から平間まで中丸子緑道散策)

## 編集後記

つづきナビ倶楽部の活動を開始して、2022年今年で10周年を迎えました。

あらためて、10年間活動できたことを、後援いただいた区役所や講座会場として利用した地区センターなど、ご支援頂いた方々に感謝の意を表すとともに、発足時の「新しい街、都筑の魅力発見」の理念に対して、10年間の活動の足跡をたどり、今後の活動の指針にと記念誌をまとめました。

記念誌作成に際しては、運営委員が主体となり、全体構成から原稿作成まで倶楽部会員で行いました。また、10年間の倶楽部活動の足跡をまとめるにあたっては、単に散策記録に留まらず、会員自ら良かった、感動した、お薦めの場所の写真を選び掲載しました。

記念誌を開いた方が、ちょっと歩いてみようかなと、感じていただければ幸いです。

(編集委員：熊谷 浩平)

## 10周年記念誌

発行年月日：2022年11月1日

発行者：つづきナビ倶楽部

ホームページ：<https://tsuzuki-naviclub.jimdo.com/>

つづきナビ倶楽部 10周年記念誌 編集委員（五十音順）

編集委員長：津田 正

編集顧問：秋山 満

編集委員：荒間 庸一、生田 景隆、大橋 智恵子、熊谷 浩平  
辻岡 千枝子、前川 勲、渡邊 芳香



10周年記念誌 編集委員 (2022年1月編集委員会にて)

### 裏表紙の写真：ローザ・つづきく

フランス、ロワール地方の中核都市アンジェの南に、貴腐ワインやバラ園で知られるオービニエ・スール・レイヨン(以下 A.S.L)という町があります。この町と都筑区とは平成9年頃から住民同士の交流があります。これまで、A.S.Lの収穫祭に区民が国際交流団を派遣し、現地で都筑区の紹介や日本文化を披露するなどの交流が行われてきました。

あるとき、A.S.L近郊でバラ園を経営するジャック&クリストフ・トラヴェール親子がこの交流を知り、新種のバラに都筑区の名前をつけてはどうかと A.S.L市長に提案されました。こうして、そのバラは「ローザ・つづきく」と名づけられました。

「ローザ・つづきく」は光沢のある淡いピンクの花びらをもつ二度咲きのバラで、春から秋にかけて美しい花が咲きます。

(都筑区ホームページより)



ローザ・つづきく 都筑中央公園

本誌掲載の写真・地図等の無断使用を禁じます。

2022年 つづきナビ倶楽部